

楠正憲氏の発表に対するコメント

2005年4月9日

八田真行

mhatta@gnu.org

1

八田のスタンス

論旨や現状認識
おおむね賛成

具体的な方法論
不満

2

「事前の設計」に対する評価

情報社会の設計とは何か

設計自体の放棄

「設計プロセス」の設計が重要
「場」の設計

いくつかのキーとなる要素だけ確保してあとは競争に任せる

方法論?
キーの抽出
具体論

3

「標準」の公共性

デジュレからデファクトへ

標準の公共性をどうやって担保するか

たとえばソフトウェア特許

4

ソフトウェア特許の問題(1)

ソフトウェア特許
アイデアの保護

著作権
表現の保護

アイデアは少数、表現は無数

ソフトウェア(プログラム)は著作物

5

ソフトウェア特許の問題(2)

先行者利益として正当化できるか

制度間競争を阻害

制度に複数の用途
特許と人事考課

「巨人の肩」に乗せてもらえない

6

デファクト標準がサブオプティマルな場合

多数のステークホルダー

局所最適からの脱出

具体的にどうすればいいのか?

7

関わる主体の問題

クリエイティブ・コモンズ

法的整合性に拘泥

どうやって普及させる?

現場に任せる?

「中間者」が必要

ジェネラリスト?

でもどうやって?

8